

## 23 新宮緑地環境保全地域



### 1 地域指定

- (1) 指定地域 新宮神社周辺一帯（銚田町）
- (2) 指 定 昭和58年3月31日（茨城県告示第589号）

### 2 保全計画の概要

#### (1) 指定理由

本地域は、スダジイ、ヤブツバキの大径木を主とする常緑樹林である。上層木の樹冠は相重なり、周辺と比べてきわだった相観を呈しており、その下に、希少性を有する常緑性のカラタチバナが生育している。

また、動物相では、南方系の大型蝶、モンキアゲハも生息する等、集落内にあって貴重な動植物が見られるので、これらの自然環境を保全する必要がある。

このため、本地域は、茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって、良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

#### (2) 自然環境の概要

##### ア 植 生

スダジイを優占種とし、タブノキ、ヤブツバキ、モチノキの生育する常緑樹林の下に、ケヤキ、ネムノキ、イロハカエデ、エノキの落葉樹が、ともに大径木となって混生し、おう盛な樹冠を形成している。

林内には、アオキ、イヌガヤ、シロダモ、ヤブツバキが見られ、その下にテイカカズラ、ヤブコウジ、ベニシダ、キバナアキギリ、ヒサカキ、カラタチバナ等が豊富に生育している。

このうち、カラタチバナは、本県を北限とする暖地性植物で、かつ、希少性を有している。

#### イ 野生動物

常緑樹林及び周辺に、ダイミョウセセリ、チャバナセセリ、キマダラセセリ等のセセリチョウ類、アオスジアゲハ、クロアゲハ、モンキアゲハ等のアゲハチョウ類、アカタテハ、ルリタテハ等のタテハチョウ類が数多く生息している。

特に、モンキアゲハは南方系の大型種であり、チャバナセセリは関東地方以西に分布域を持ち、ともに個体数は少ない種である。

また、キイトトンボ、アジアイトトンボ、シオカラトンボ、アキアカネ、ナツアカネ等のトンボや他の昆虫も多種見られる。

さらに、キジバト、ヒヨドリ、モズ、メジロ、ホオジロ、ムクドリ、カケスのほかに、夏鳥のカッコウ、ホトトギス、冬鳥のツグミ等も多数確認されている。

### (3) 区 域

#### ア 区域の概要

本地域は、銚田町の中心街から東へ約2キロメートル、小高根の集落に位置し、新宮神社を中心とするまとまった森林地域で、周囲に空堀が掘られている。

#### イ 位置及び区域

鹿島郡銚田町大字畑田の一部

別図のとおり

#### ウ 面積 1.10ヘクタール

#### エ 土地所有関係

単位：ヘクタール

国 有 地	公 有 地	民 有 地	合 計
0	0	1.10	1.10

(面積は、実測値である。)

### (4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

新宮神社を中心として、スダジイ、タブノキ、ヤブツバキの常緑樹林の下に、本県を北限とし、かつ、希少性を有するカラタチバナが生育している。

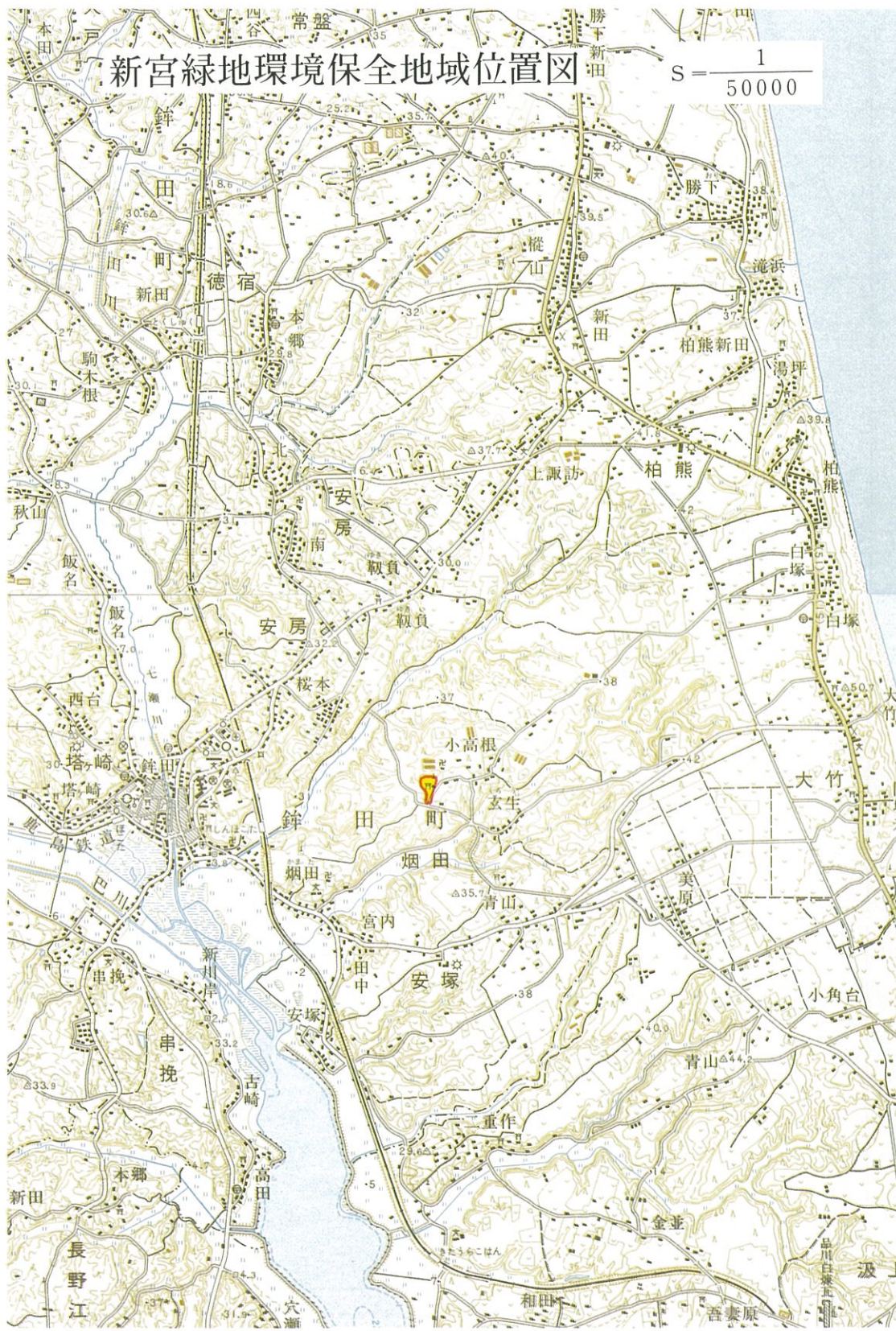
周辺と比べて、きわだった相観を呈する森林内に、南方系の大型蝶、モンキアゲハが生息するほか、昆虫類、鳥類も数多く見られる等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。

### (5) 保全のための施設に関する方針

良好な自然環境を保全するため、必要に応じて保全施設を設ける。

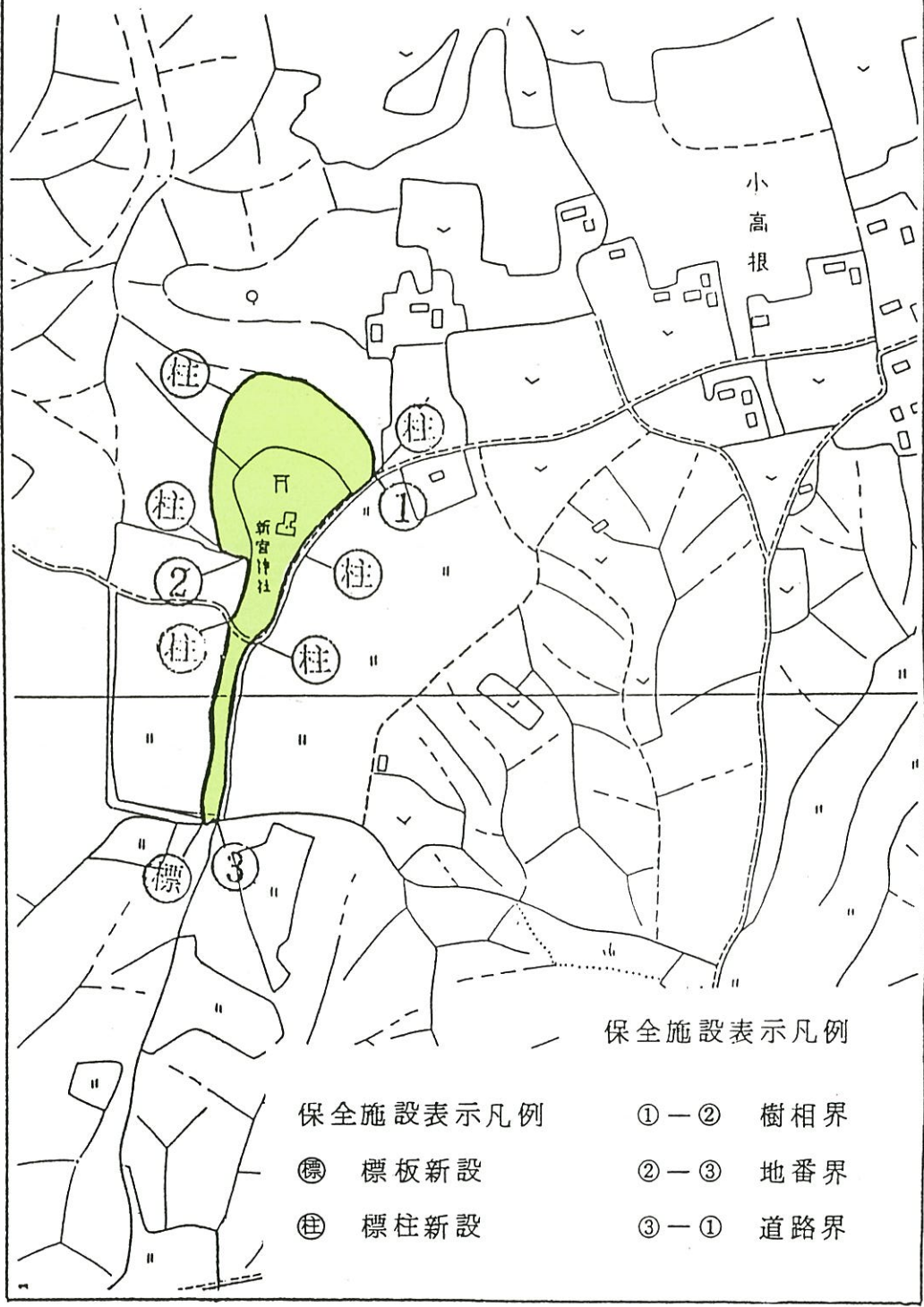
# 新宮緑地環境保全地域位置図

$$S = \frac{1}{50000}$$



# 新宮緑地環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{5000}$$



## 保全施設表示凡例

### 保全施設表示凡例

- 標板新設
- ⊕ 標柱新設

- ①—② 樹相界
- ②—③ 地番界
- ③—① 道路界